

こども発達支援センターKiitos羽村 支援プログラム

2026年2月15日作成

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもの人権と個性を尊重し、一人ひとりの可能性を信じてその成長と発達を支える。 子どもとその家族が主体となって安心して暮らしていけるよう、専門的な視点と温かなまなざしをもって、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を提供する。 保護者の思いや子育てへの考え方に寄り添い、家庭や地域社会と連携しながら、豊かな日常生活を実現するための力を育む。 常に変化する社会のニーズに応えられるよう、専門性を高める努力を惜しまず、自覚と責任を持って質の高い支援を提供し続ける。 		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 未来への土台作り：近い将来(就学)から未来(就労)までにつながる土台(生きる力・人と関わる力)の構築を目指す。 自己肯定感の醸成：楽しみながら「できた！」という成功体験を積み重ね、自信や自己肯定感を育む。 家族への伴走支援：保護者の想いや葛藤に寄り添い、特性を抱えた子どもの子育ての良き理解者として伴走する。 		
営業時間		8時30分～17時30分	送迎実施の有無	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に動きやすい環境を構造化し、食事、排泄、更衣などの基本的な生活習慣の自立を促す。 行動理論の知見を補足的に活用し、スモールステップで「自分でできた」という達成感を積み重ねる。 	
	運動・感覚	粗大運動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合の視点に基づき、全身運動(ボルダリングやトランポリン等)を通じて姿勢保持や身体のコントロール能力を養う。 	
		微細運動	<ul style="list-style-type: none"> 太田ステージに合わせた個別課題を通じ、目と手の協調、手指の巧緻性を高め、描画や筆記の基礎を作る。 	
		感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の過敏さや鈍麻に対し、感覚統合療法に基づいた適切な感覚入力を提供し、脳と身体のバランスを整え、情緒の安定を図る。 	
	認知・行動		<ul style="list-style-type: none"> 認知発達段階(Stage I～IV)に応じた適切な課題を設定し、事物の概念化、比較、関係付けの力を体系的に育む。 成功体験を重視し、失敗の少ない環境設定(エラーレスな支援)により、意欲的な学習姿勢を育てる。 	
	言語コミュニケーション	グループ	<ul style="list-style-type: none"> 小集団活動の中で、相手の言葉に耳を傾ける、状況に応じた返答をするなど、実践的なやり取りを経験する。 遊びを通じ、非言語的コミュニケーション(表情や身振り)の理解も深める。 	
		個別	<ul style="list-style-type: none"> 個々の認知発達段階に合わせた語彙の拡充や、要求伝達(マンド)の形成を支援する。 視覚的支援等を用い、「自分の意思が相手に伝わる」というコミュニケーションの基盤を構築する。 	
	人間関係社会性	グループ	<ul style="list-style-type: none"> 小集団によるSST: ルール遵守、順番、他者との折り合いの付け方をロールプレイや実践で学ぶ。 共通の目的を持った活動を通じ、集団の中での役割遂行や所属感を醸成する。 	
個別		<ul style="list-style-type: none"> 指導員との1対1の関わりを通じ、安心感と信頼関係を築き、情緒の安定と自己肯定感を育む。 自分の感情に気づき、適切に表現・調整する力の基礎を学ぶ。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの行動を客観的に観察し、肯定的な関わり方を習得するペアレント・プログラム:の連続講座を実施する。 育児の良き理解者として、家庭での困りごとに対する具体的な関わり方を共に考える。 	移行支援(就学プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ➤年長児を対象に、秋以降から小学校生活(板書、日直、45分着席等)を想定したシミュレーションを実施する。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ➤保育園・幼稚園・学童・児童発達支援事業所等の職員を対象とした、発達支援の連続講座を開催する。 ➤地域の事業所連絡会、自立支援協議会への参加。 ➤実習生を積極的に受け入れる。 ➤保育所等訪問支援や関係機関との連携を通じて、地域全体のインクルーシブな支援体制の向上を牽引する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ➤常に専門性を高める努力を惜しまず、内部研修や外部研修への積極的な参加を通じ、支援の質をアップデートし続ける。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ➤8月(水あそび) ➤12月(さんぽ・近隣の公園での外あそび) 		